

高退協ニユース

高退協事務局
1983. 7.
No. 18

・暑中お見舞い………・渋谷 巖
退職にあたって
森田鉄亀・池上真一・永江純仁
佐伯良夫・木村信夫・広瀬雄助
山崎博幸・市川一郎・杉本 緑
谷山紗栄

暑中お見舞い 申しあげます

事務局

きびしい暑い日がつづいていますがお元気でしょうか。暑さにまげず健やかに生きるとともに、

① 食事はバランスのとれたものを、コレステロールの多いものはさげ、野菜・果物を充分にとりましょう。

② 酒・煙草はひかえめに、夜更しをやめ規則正しい生活をしましょう。

③ イライラをさげ、精神的緊張は身体にこたえる。

④ 精神的若さを保ち、碁・将棋・俳句・詩・ジョギング等々余暇を有意義にすごしましょう。

退職にあたって

森田鉄亀

太平洋戦争の真直中に教職につくと共に、海軍航空隊に入った。級友の何人かは特攻隊で戦死。自分は終戦で生き残った。青春も両親もすべてを捨てて国の為に死ぬことを最上と思ひ戦前の軍国教育の恐ろしさ、そして戦争のおろかさ、が漸やくわかってきた頃、日本の民主教育推進を主軸に日教組が誕生した。「教員を再び戦場に送らない」を合言葉に日教組の歴史と共に歩んだ約四十年。この間には、人事権まで握っていた時代もあった。命をかけても阻止しようとした勲評闘争や賃金闘争等でのストも何回かの苦しい時代もあった。今は命やからだを張って闘うこともなくなった組合の前途が少し気がかりです。

池上真一

定年まで八年もありましたが、退かざるを得ない理由が四項目、やめたい理由六項目で、思いきって二十八年の学校生活にピリオドを打つことになりました。

定年退職の方々と違って、月火水木金の多忙な生活です。当面は、もとの農民に還り鉢物やメリタロン草(コピー草)の生産に携りながら、その一方花や野菜の育種(品種改良)戦争に突入してあります。

バイオテクノロジ(生物工学)を中心とする育種で今までのなかつた色の花や新野菜の育成をめざしてあります。交配による育種よ

り教育種能率をアップ出来るものと……取組んでいます。ユリについては一昨年交配した二十七個体のなかから、幸運にも特許申請できるとみられるものが五個体もあり、本年度中には画期的な品種をと……(特許を取って収益があがってくるのは数年後)細胞融合の準備中です。

経営に参加してくれる方(資金パートナーのみでなく)を求めています。

南國市西山088666008080808080
池上カリクロン育種研究所

永江純仁

一九五一年、私は高校教員となつた。教育活動と権利闘争とは直結していた。一九五八年、十割休暇闘争にはじまる闘いの歴史、いのちなき砂のあわれさを嘆ききびしい時代もあった。緑の山河を高唱しながらも苦悩に堪える力を持ったよき先輩や友がいた。幸であった。山映の青葉から滴り落ちる一滴の露、落葉をくぐり岩を侵して遙か大洋に注ぐ。

高教組のご躍進を祈る。

佐伯良夫

高知工業定時勤務を最後に、三十一年間の教職勤務を離れ、このたび高退協の皆様方の仲間入りをして黄りようになりました。

よろしく御願ひ致します。

今後は、いわゆる年金生活に入る訳ですが、人動凍結・福祉の切り捨て等、状況はきびしく、加えて今後は益々高台化社会に向うとか、私達にとってはいよいよ厳しい社会になりそうです。皆様と共に今後の生活を頑張りたいと思ひます。

木村信夫

お仕着せ官製「校内研」よりは現場からウツボンとして起る私製校内研を。これは私が佐川定時に着任した時からの持論だった。いや、ずつと以前から私が抱いていた夢であった。それが退職寸前に実現(本邦初公開)してうれしかった。あの時の生徒諸君や先生方、ありがとごさい。

生徒諸君に退職撤回も迫られた。私事恐縮。わかる授業。面白い授業。何でも言える授業。

生徒(こ)らとも
ひとひと日をいづくしむ
けふを限りの学び舎なれば

広瀬雄助

敗戦後間もなく日教組の発足、それ以来今日まで組合員の一人として微力乍ら頑張ってきました。三十七年間の組合活動の中で、最も印象に残ったのは勲評闘争でした。今回私共退職者を助けました下さる組合に出席させていただき当時肩を組み組合歌を共に歌った先生方にお目にかかる事が出来、高教組健在なりとの意を強くしました。私もこれからは高退協の一員として皆さんとの和を深め頑張りたいと思つて居ります。

山崎博幸

本年より仲間入りさせて頂いたべくよりになつた早々に大役を仰せ付かることになりました。

高退協結成以来先輩達の残された足跡、果してこれられた大きな役割に改めて敬意を表すると共に任務の重大さを痛感しています。

一九八三年政治決戦の年、平和や民主主義・生活擁護発展を求め戦いに歩みを刻んでゆこうではありませんか。よろしく御願ひいたします。

市川一郎

須崎を振出しに北高まで、十一校、三十七年間の教職生活でした。民主教育の実践・組合活動・平和運動等に、私なりにとくりくんで来たつもりです。これからは続けていきたいと思ひます。

さらに、芸術家への道を進んでいる娘たちとともに、芸術活動や芸術教育への夢を少しでも実現することや印刷・出版活動などにたずさわりたいと思ひています。

高退協の一員として頑張りますのでよろしく御願ひします。

杉本 緑

退職の後始末に追われていた時組合より送別会の御案内を貰ったが疲れから風邪気味だったので欠席しようかと考えたが、思いきって出席する事にしました。当日はあいにくの雨であったが出席してみることが、二十数年前に須崎校で一緒にあった岩井先生がすぐ近くに坐って居られ、その向うには成瀬先生竹島・平石・吉川・田中先生等々なつかしい仲間ばかりで、二十年が一堂に集った感じをやっぱり来てよかったです。

渋谷先生や坪井先生より長い組

組合生活に対する慰勞のお言葉のあった後、退職者の挨拶になり、やがて私の番になつたが退職と言ふことが私に何か感動をあたらせていたのである。あがつてしまつて何を言つたのか覚えていない程である。私は皆の先生方のお杯を次から次へと頂き和やかなふんいきの中ですつかりよい気分になつていた。

私のようないたらない人間が三十年余りの教員生活を何とか勤めおきて終る事が出来たのも、それぞれ転任した学校にこの様な温かい組合の先生方がいて下さつたからだと熱いものがあつた。そして私はやつとお別れだな、退職したのだな、と自分に言い聞かして来た。長い間組合の皆さん方にはお世話をかけました。退職にあつて心よりお礼を申し上げます。

谷山紗栄

思えば三十余年前、教師を始めた時は、レッドベイジ・朝鮮戦争と平和教育も既に大がらといかないような雰囲気が見え始めていました。

純真な子供達と「原爆の子」や「山びこ学校」の文集等を泣きながら読んでいたのは戦争や貧乏の悲惨さを、そしてそれはどこから来るのか等話し合つたことでした。

それらから勲評闘争の嵐の中でぼろぼろりとこぼれていった仲間もかなりいました。

しかし組合では平和と民主教育・生活と権利を守る運動等次から次へと闘いつづけてきました。一つ一つの組合の歩みを見る時、私はその組合の一員として輝かしい歴史を作ってきたのだと大きな誇りと喜びを感じています。

今までできなかつた書道・料理・古典の勉強・近所の方と踊つてみた、花を作つたり、荒地となつた山の畑を耕して自然農法で野菜や果物も作つてみたいと思つていますが、米寿を迎えた母を連れ娘がまだ大学生で就職・結婚と大仕事が残つていて優雅な生活どころではなく、身体がきつうあつても足りそうでありませんが、戦争への足音、福祉・教育へのしわ寄せ、前途の暗いことを考える時、今から歩き始める新たな人生も又新しい歴史を作るための日々でなければと更に仲間と一緒に頑張らなくてはと思つています。